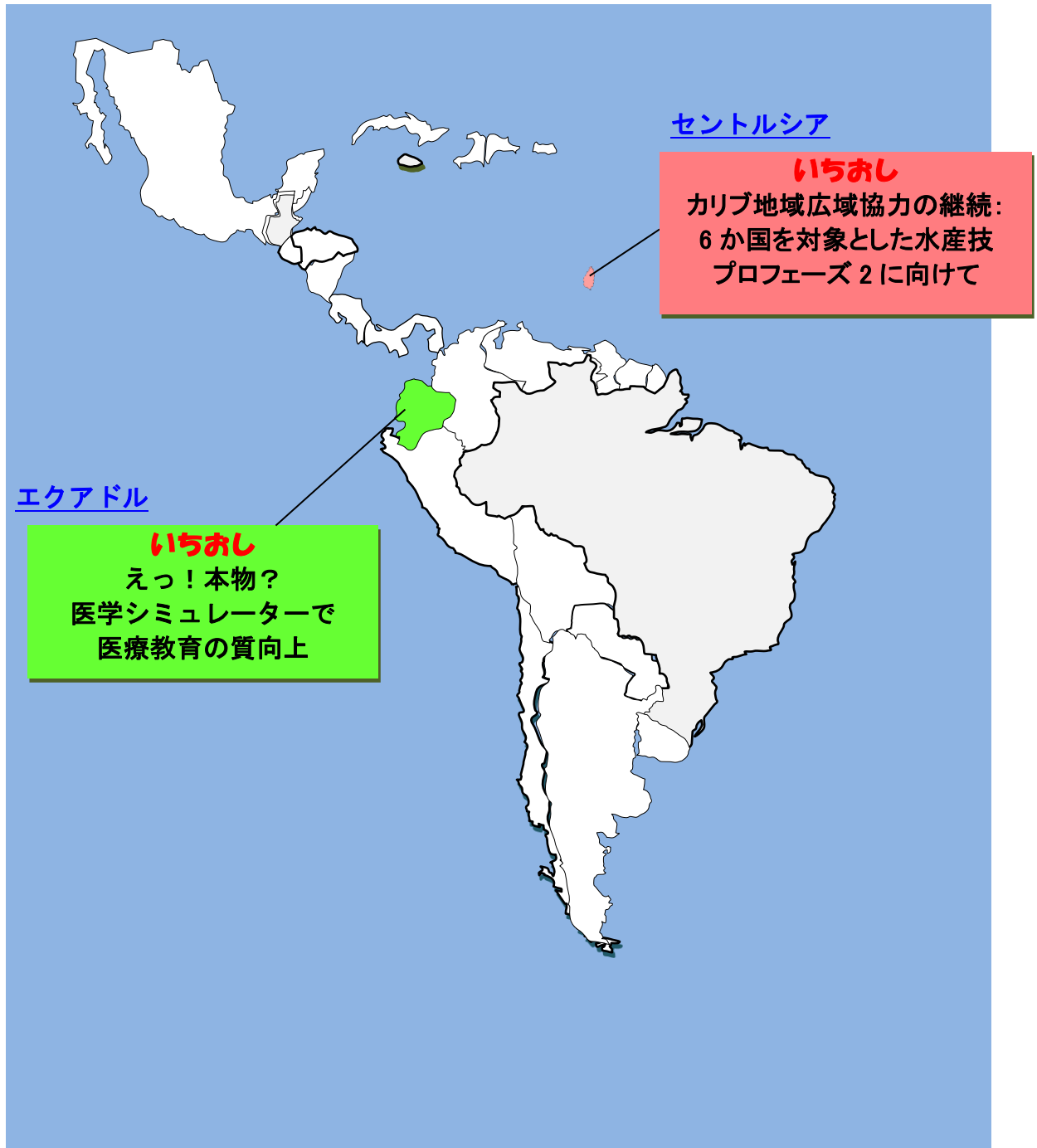




JICA いちおし 5月号

(2019年5月3日発行)



* 国名にはリンクを張っております。あわせてご確認ください。

カリブ地域広域協力の継続： 6 か国を対象とした水産技プロフェーズ 2 に向けて

「沿岸水産資源の保安全管理強化プロジェクト」が 2018 年 12 月に年央採択されました。これは、2018 年 4 月に終了した「カリブ地域漁民と行政の共同漁業管理プロジェクト」の後継案件として、各国より要望の高かったものです。

3 月に調査団が、対象となる 6 か国を訪問しプロジェクトの概要を確認し、パイロット活動案を合意しました。3 月 8 日のワークショップでは 6 か国が集まり各国の取組を共有する場で、日本の知見として大洋州のプロジェクトでも実践されている「里海」について紹介しました。日本人の DNA ともいえる、自然と調和して資源を持続的に利用する里山・里海の取組は、関心をもって迎えられました。

JICA では国境を接し・国を超えた共通の課題に取り組む地域協力が、世界各地で立ち上がっています。地域協力は、地域機関との連携や関係各国との国際約束の締結など、二国間協力よりも複雑な手続きが必要となり、また、現場活動にも制約があったりと、実りが多い反面チャレンジの連続でもあります。セントルシア事務所では、前身となる支所の時代より、ドミニカ共和国事務所とともに、カリブ地域の複数国を対象とした地域協力を実践してきました。4 月からはジャマイカ支所と共に、4 か国を対象とした「カリコム省エネルギー推進プロジェクト(広域)」も開始される予定です。

中南米の中でもカリブ地域は、ほとんどの国が人口 10 万人以下で日本の離島程度の面積しかありません。10 か国中 3 か国は ODA 卒業国でもあり、支援のオプションが限られますが、地域機関や専門機関と連携して周辺国に優良事例の共有を行うことなどで、プロジェクトの成果を広めて能力強化に貢献していきます。



えっ！本物？医学シミュレーターで医療教育の質向上

2019 年度に中小企業海外展開支援事業としてエクアドルにおいて株式会社京都科学が「UHC(ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ)人材育成の為のシミュレーション教育普及・実証・ビジネス化事業」を開始します。

この事業では日本ならではの高い技術を導入した人体と非常に疑似性の高い同社のシミュレーターを用い、ビジネス展開を検証するとともに、エクアドルが掲げる UHC の実現、保健医療格差是正を医学教育の改善を通して目指すものです。

現在本事業の対象となるエクアドル中央大学では医療シミュレーターを用いた医学教育が行われているものの、機材が老朽化していたり、人体とはほど遠い材質のものであったりするため、この事業により、日本の本物そっくりの機材が導入され医学教育の質が大きく向上することが期待されています。



エクアドル中央大学が所有する「手」と「血液」



エクアドル中央大学での医学シミュレーター教育の様子

エクアドル事務所の情報はこちらから↓

<https://www.jica.go.jp/ecuador/>

<https://www.facebook.com/JICA-Ecuador-1449678225354548/>